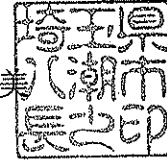




八潮都収第59号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

埼玉県八潮市長 多田 重美



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

八潮市政の推進のために、日ごろ格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった標記の件について、下記のとおり回答します。

記

今後の道路政策や道路の整備・管理について

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1 快適な生活環境の構築と活力ある市街地の形成

高齢化社会の到来を踏まえ、高齢者や障害者の安全を優先するためにも、歩行空間のバリアフリー化を推進するとともに、無電柱化により安全・快適・美しい都市空間の形成を推進する。

2 スマートIC（ETC専用IC）の整備促進

高速道路の利便性を向上させ、地域生活の充実、地域の活性化を図るため、地域との調整を図りつつ、社会実験を実施するとともに整備効果が高い個所について本格導入を図り、引き続きスマートICの整備を促進する。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

個別の道路事業を進めるにあたり、課題をデータできちんと把握したうえで、緊急性の高いところから進めていくのはもちろんのこと、首都圏の快適な交通環境をめざして、3環状道路や東埼玉道路の整備を特に集中的に行い、都心部に集中する交通渋滞の解消を目指すことが重要であると考えられる。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

快適で住みよい市街地整備の実現のために、土地区画整理事業や街路事業を推進しているところであるが、長引く景気の低迷や地価の下落等から、道路財源確保が緊急の課題となっている。

このことから、「道路特定財源の見通しに関する具体策」により道路特定財源は一般財源化するとの見通しが示されたが、真に必要な道路整備箇所においては、集中的投資によって事業の資金の確保を行っていくことが不可欠である。

また、道路の安全で安心な道路環境の確保の面からも、積極的に道路特定財源の活用を図る必要がある。

以上